

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立住吉区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課(電話:06-6208-8054)
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合
数値目標	84.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(H30年度～令和2年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市住吉区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	84.6%
年度実績	87.9%
達成率	103.9%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	25,220	14,217	11,003

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
業務代行料	実績	19,390,000	19,390,000	0	－
	計画	19,390,000	19,390,000		
その他	実績	20,870	16,490	-79,130	感染症による事業中止等による減。
	計画	100,000	80,000		
合計	実績	19,410,870	19,406,490	-79,130	－
	計画	19,490,000	19,470,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
人件費	実績	12,745,094	13,018,853	-694,906	－
	計画	13,440,000	14,430,000		
物件費	実績	5,984,606	4,628,762	-65,394	感染症による事業中止等による減。
	計画	6,050,000	5,030,000		
合計	実績	18,729,700	17,647,615	-760,300	－
	計画	19,490,000	19,460,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1)成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	103.9%	B	感染症による影響がある中で、本市が定める水準を達成している。

(2)市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・消耗品等の一括発注及び比較見積調達並びに節電による経費節減。	B	消耗品等の一括発注を行うなど、市費の縮減に努めた。

(3)管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設の連携して合同消防訓練を実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、窓口での手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・コロナ禍における各ボランティア活動の支援として、住吉区社会福祉協議会と共催してボランティア活動の共通課題や情報共有を行い相互に啓発しながら意識を高めあう勉強会「いきいきライフサポーター定例会」を実施するなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・地域包括支援センターと連携しながら共催事業として講座等を実施するなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、再生紙を使用するなど実効性のある取組を行っている。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

(1)調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
(2)回答者293人(未記入者含む)
(3)質問項目 ア 基本的な事項(年齢、居住区等) イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
(4)結果 ・総合満足度において、満足(やや満足)と回答される方が87.9%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1 センターの存立目的に合致した内容で、サークルの自主性も確保しながらPDCAを意識し、良好に運営されている。昨年度指摘を受けた男性の参画について、真摯に対応することにより利用者が増え、同時にボランティア指導者を育てる努力をしている点は評価できる。
2 センターだよりについて、保育園児の絵を掲載するなど地域の関わりも確保しながらスマートな紙面を作成している点は評価できる。
3 理念がはっきりしていることから、事業報告書の計画にプラン内容を記載していただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	新型コロナウイルス感染症の影響による様々な制約があったなかで、感染予防対策の徹底、利用者のニーズを取り入れた多彩な講座やイベント等の実施、男性利用者増加に向けた取り組み、苦情等への適切な対応など、可能な限りの創意工夫を凝らした会館運営により、利用者の満足度について目標達成につながったものとする。
市費の縮減		B	消耗品等の一括購入、こまめな節電などの省エネ・コスト削減や職員の意識改革に取り組むことにより、効率的な管理運営を行った。
管理運営の履行状況		B	センターの利用促進に向けた広報の工夫や利用者ニーズを取り入れた多彩な講座やイベント等の実施などにより、センターの魅力向上に努め、利用促進につなげている。また、同好会活動への支援を行うことで、各会の主体的な取り組みにつながっている。さらに、利用者サービスの向上策として、アンケートを実施し、その結果を事業運営に反映させるなど、PDCAを意識して管理運営を行っている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	本市が期待する管理運営を行った。